

2024 年度の事業報告について

会員数 (2025 年 3 月 31 日時点)

- ・ 正会員：25,235 人 ※詳細は別添 1

公 1 臨床工学技士の学術技能の研鑽及び資質の向上を目的とした事業

1) 公 1.1 職業倫理の高揚に関する事業

(1) 公 1.1.1 臨床工学技士の職業倫理及び生命倫理の啓発

- ・ 会員が関係する不祥事案に対して調査を行い、量定を検討した。
- ・ 第 34 回日本臨床工学会において、倫理に関するワークショップを開催した。

(2) 公 1.1.2 医療機器の立会いに関する啓発

- ・ 一般社団法人日本医療機器工業会主催の医療機器の公正取引に関する討論会に倫理関係法規委員等を派遣した。また、討論の内容を文書にまとめて会員に配布した。

(3) 公 1.1.3 学術研究倫理の啓発

2) 公 1.2 日本臨床工学会の開催に関する事業

(1) 公 1.2.1 「第 34 回日本臨床工学会」の開催

- ・ 次のとおり、開催した。

メインテーマ	臨床工学の更なる極みへ ～知識・技術のシンカ～
会 期	2024 年 5 月 18 日(土)～19 日(日)
会 場	フェニックス・プラザ、ザ・グラン ユアーズフクイ、織協ビル
学会長	一般社団法人福井県臨床工学技士会 五十嵐 茂幸

(2) 公 1.2.2 「第 35 回日本臨床工学会」の開催準備

- ・ 開催に向け、一般社団法人大阪府臨床工学技士会との連携により準備を進めた。

メインテーマ	臨床工学の進歩と調和 ～Progress and Harmony for CE～
会 期	2025 年 5 月 17 日(土)～18 日(日)
会 場	グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)
学会長	一般社団法人大阪府臨床工学技士会 会長 小北 克也

(3) 公 1.2.3 「第 36 回日本臨床工学会」の開催準備

- ・ 開催に向け、一般社団法人福岡県臨床工学技士会との連携により準備を進めた。

メインテーマ	志の醸成 ～臨床工学を未来に紡ぐ～
会 期	2026 年 5 月 16 日(土)～17 日(日)
会 場	福岡国際会議場、マリンメッセ B 館
学会長	一般社団法人福岡県臨床工学技士会 大塚 紹

(4) 公 1.2.4 日本臨床工学会の充実および安定的な実施に向けた検討

- ・ 第 37 回日本臨床工学会について、開催者について公募を行った。
- ・ BPA の審査基準等について、検討した。

3) 公 1.3 検定に関する指定講習会及び検定試験に関する事業

(1) 公 1.3.1 専門臨床工学検定試験の実施

- ・ 指定講習は別紙 1.1、検定試験は別紙 2 のとおり。
- ・ 対象：専門呼吸治療臨床工学技士
専門血液浄化臨床工学技士
専門手術臨床工学技士
専門不整脈治療臨床工学技士
専門心・血管カテーテル臨床工学技士
専門高気圧酸素治療臨床工学技士
専門内視鏡臨床工学技士

(2) 公 1.3.2 認定臨床工学検定試験の実施

- ・ 指定講習は別紙 1.1、検定試験は別紙 2 のとおり。
- ・ 対象：認定血液浄化臨床工学技士
認定集中治療臨床工学技士
認定医療機器管理臨床工学技士
- ・ 認定手術臨床工学技士および認定医療安全臨床工学技士について、2025 年度から指定講習と検定試験を実施すべく準備を行なった。

4) 公 1.4 臨床工学技士業務の追加に関する事業

(1) 公 1.4.1 業務拡大に向けた実施体制等の検討

- ・ 改正臨床工学技士法の施行により実施可能となる業務および従来からの制度において実施可能な業務の推進について、関係学会等と協議した。

(2) 公 1.4.2 業務範囲の追加に対する厚生労働大臣指定研修会の実施

- ・ 「臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修」を開催しており、2024 年度末に修了者が 21,280 人となった。※詳細は別添2

5) 公 1.5 臨床工学技士の生涯教育に関する事業

(1) 公 1.5.1 キャリアアップのため研修の実施

- ・ 別紙 1.2 のとおり。
- ・ 入会オリエンテーションと臨床工学技士基礎研修について、教材を更新した。

(2) 公 1.5.2 災害対策のための研修の実施

- ・ 災害対策委員会を中心として、外部講師を招いて研修を行った。

(3) 公 1.5.3 学術研究の進め方に関する研修の実施

- ・ 同上。

(4) 公 1.5.4 生涯教育の充実及びキャリアラダーの作成に向けた検討

- ・ 生涯教育制度の再編を行っているところ。
- ・ 新たな生涯教育制度に関する会員への周知について、検討を行なった。
- ・ オンデマンド型 e ラーニングコンテンツに向けて、新たな研修の実施等を試行的導入を行った。

6) 公 1.6 臨床工学技士の卒前教育に関する事業

(1) 公 1.6.1 (一社)日本臨床工学技士教育施設協議会との連携

- ・ 2023 年 4 月に開始となった新カリキュラムについて、情報収集等を行っているところ。

(2) 公 1.6.2 臨床工学技士カリキュラム改善の対応に向けた検討

- ・ 次回の改正に向けて、日本臨床工学技士教育施設協議会とともに課題要点を整理した。

- (3) 公 1.6.3 日本臨床工学技士の卒前教育に関する研修の実施
 - ・別紙 1.2 のとおり。
- (4) 公 1.6.4 臨床工学技士臨床実習指導者講習の実施・さらなる充実に向けた検討
 - ・厚生労働省認可研修会を開催した。※詳細は別添3

7) 公 1.7 臨床工学技士の資質向上につなげる事業

- (1) 公 1.7.1 臨床工学技士の職能に関する啓発の実施
 - ・2025 年 2 月 2 日および 13 日に、職能教育に関するグループワークを開催した。
- (2) 公 1.7.2 都道府県臨床工学技士会等との連携の強化
 - ・臨床工学技士の職能教育に関するミーティングを実施した。
 - ・第 34 回日本臨床工学会に併せて第 19 回全国都道府県技士会代表者会を開催した。
 - ・2024 年 12 月 10 日に CAC : Cooperate with All Ces を開催して、都道府県臨床工学会役員等とコミュニケーションを図った。
 - ・代議員の役割等について、検討を進めている。
- (3) 公 1.7.3 男女共同参画等の推進
 - ・女性活躍の推進について、具体の活動を検討した。
 - ・ワークライフバランスリーフレットを作成した。
- (4) 公 1.7.4 若手人材の積極的な活用
 - ・2024 年 11 月 8 日および 15 日に、AGM : All Generation Meetings を開催した。

公 2 臨床工学領域における安全対策に関する事業

1) 公 2.1 医療機器安全使用のための研修に関する事業

- (1) 公 2.1.1 医療機器安全管理に関する研修の実施
 - ・医療機器サイバーセキュリティに対応するための ICT 人材の育成を目的として国家資格取得に対する奨励金制度を開始した。
 - ・資格取得の促進に向けて、周知を行った。
- (2) 公 2.1.2 血液浄化等に関する研修の実施
 - ・別紙 1.2 のとおり。
 - ・研修の内容：透析液安全管理基礎研修会
バスキューラーアクセス管理研修会
医療機器安全管理責任者研修会
医療機器安全管理研修会
腹膜透析業務基礎研修会
集中治療業務基礎研修会
新生児集中治療業務基礎研修会
心・血管カテーテル業務基礎研修会
高気圧酸素治療業務基礎研修会
内視鏡業務基礎研修会

2) 公 2.2 医療機器の安全確保に関する普及啓発事業

- (1) 公 2.2.1 医療機器の安全管理に係る指針等の普及啓発
 - ・医療機器安全管理に関する指針の改訂について、検討を開始した。
 - ・医療機器のサイバーセキュリティ対策について、関係各所と連携しながら作業を進めているところ。
 - ・臨床工学技士のための医療安全に関する書籍の出版に向けて、検討を行った。

(2) 公 2.2.2 医療安全全国共同行動との連携

- ・医療機器に関する安全確保に関して、委員等を派遣した

(3) 公 2.2.3 医療機器の安全確保に関する行政機関等への協力

- ・厚生労働省および(独)医薬品医療機器総合機構の委員会や検討会に委員等を派遣した。
- ・(公社)日本医療機能評価機構の委員会や検討会に委員等を派遣した。
- ・(公社)医療安全調査機構の委員会や検討会に委員等を派遣した。
- ・総務省および電波環境協議会の委員会や検討会に委員等を派遣した。
- ・(一社)流通システム開発センターの委員会や検討会に委員等を派遣した。
- ・(公財)医療機器センターの委員会や検討会に委員等を派遣した。
- ・(一財)医療関連サービス振興会の委員会や検討会に委員等を派遣した。

3) 公 2.3 災害時の支援に関する事業

(1) 公 2.3.1 災害発生時の情報収集

- ・災害発生時における情報収集について、スキームを検討した。

(2) 公 2.3.2 災害に対する支援

- ・JHAT¹の構成団体として、支援のあり方を検討した。

公 3 臨床工学の普及啓発に関する事業

1) 公 3.1 臨床工学に関する普及啓発事業

(1) 公 3.1.1 日臨工ビジョンを用いた臨床工学の認知度向上

- ・日臨工ミッション・バリュー・ビジョンについて、周知を行った。

(2) 公 3.1.2 マスコットキャラクター等を活用した臨床工学の認知度向上

- ・シープリンを活用した一臨床工学技士の認知度について、検討した。
- ・当会と都道府県臨床工学技士会との連携強化を図るべく、ご当地シープリンの作成を行った。

(3) 公 3.1.3 都道府県臨床工学技士会との連携による臨床工学の普及啓発

- ・臨床工学技士に関する冊子等を作成して、都道府県臨床工学技士会に提供した。
- ・各種の情報共有等、連携を図った。

(4) 公 3.1.4 臨床工学技士関連団体との連携による臨床工学の普及啓発

(5) 公 3.1.5 各種イベントによる臨床工学の普及啓発

- ・2023年度のCEの日に合わせて、略称：CEの統一に向けた働きかけを行った。
- ・「臨床工学（CE）の日」に関連した全国におけるイベントを実施した。
- ・第34回日本臨床工学会において、「第10回ここにジーンとくるいのちのエンジニアの話」の最優秀賞・優秀賞の表彰を行った。
- ・「第11回ここにジーンとくるエンジニアのはなし」を募集し、優秀賞等を決定した。
- ・過去の受賞作品を取りまとめた冊子について、改訂を行った。

(6) 公 3.1.6 Web サイト及び情報提供システムの拡充

- ・会員等の利便性向上に向けて、改修を行っているところ。

2) 公 3.2 臨床工学の技術の普及啓発事業

(1) 公 3.2.1 職能団体との連携による臨床工学の普及啓発

- ・後援や講師派遣等を行った。

¹ JHAT：日本災害時透析医療協働支援チーム Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster

- (2) 公 3.2.2 学術団体との連携による臨床工学の普及啓発
 - ・ 同上。
- (3) 公 3.2.3 関係団体との連携による医工連携における臨床工学の普及啓発
 - ・ 経済産業省・地方経産局や各種団体等と連携し、医工連携の取り組みを推進した。
 - ・ 2023 年 12 月～2024 年 1 月、2023 年度医工連携アワードの募集を行い、受賞製品を決定した。
- (4) 公 3.2.4 臨床工学技士の職業紹介に係る情報の提供
 - ・ 小学生に対する臨床工学技士の業務紹介を行った。
 - ・ チーム医療推進協議会主催による高校生に対する臨床工学技士の業務紹介に参加した。
 - ・ おしごと年鑑 2024 (朝日新聞社) に臨床工学技士の紹介記事を掲載した。全国の小中学校において授業に活用されているところ。
 - ・ 幼児を対象とした臨床工学技士の周知に向けて、絵本の印刷に向けて準備を進めているところ。
- (5) 公 3.2.5 診療報酬等による臨床工学技士業務の評価に向けた取り組み
 - ・ 2026 年度の診療報酬改訂に向けて、関係各所と必要事項の検討を進めているところ。

3) 公 3.3 臨床工学技士業務指針の啓発に関する事業

- (1) 公 3.3.1 臨床工学技士基本業務指針の改訂および公表
 - ・ 追加となる業務範囲を含めた基本業務指針の作成について、検討した。
 - ・ バスキュラーアクセス管理指針の改訂について、取りまとめた。現在、編集作業を行っているところ。
 - ・ 日本麻酔科学会の「臨床工学技士」の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針」の作成に参画した。
- (2) 公 3.3.2 NICU 及び PICU、救急部門への参画促進に向けた検討
 - ・ 当該領域業務の推進について、検討しているところ。
- (3) 公 3.3.3 在宅医療への参画促進に向けた検討
 - ・ 当該領域業務の推進について、検討しているところ。

4) 公 3.4 臨床工学技士業務実態の調査事業

- (1) 公 3.4.1 会員からの実態報告の実施
 - ・ 2024 年 10 月に、業務実態報告 2024 を実施した (回収率は 52%)。
 - ・ 現在、調査内容の分析を行い、会誌に掲載した。
 - ・ 業務実態報告 2023 について、ブロック臨床工学会等において発表を行い、会員らと調査結果を共有した。
- (2) 公 3.4.2 医療機関に対する調査の実施
 - ・ 実施の必要性について検討しているところ。
- (3) 公 3.4.3 各種調査の一元化
 - ・ 報告データ等を整理・保管した。

5) 公 3.5 国際活動に関する事業

- (1) 公 3.5.1 国際会議等への派遣
 - ・ WHO²、ISO³、IEC⁴、JIMTEF⁵について、会議等に参加した。

² WHO : 世界保健機構 World Health Organization

³ ISO : 国際標準化機構 International Organization for Standardization

⁴ IEC : 国際電気標準会議 International Electrotechnical Commission

⁵ JIMTEF : 公益財団法人日本医療技術財団 Japan International Medical TEchnology Foundation

- (2) 公 3.5.2 国際学会等への参加、情報提供及び収集
- ・ IFMBE⁶や GCEA⁷の会議等に出席した。
 - ・ AAMI⁸の年次大会「AAMI eXchange 2024 (2023 年 6 月、テキサス／米国) において、(一社)医療機器学会による教育セッションにて発表を行った。
- (3) 公 3.5.3 JICA のボランティアに対する支援
- ・ 情報を取りまとめ、当会 WEB サイトに掲載した。
- (4) 公 3.5.4 中国及びアジア圏における透析技術に関する交流
- ・ 情報収集等を行った。

他 1 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

1) 他 1.1 学術研究の助成に関する事業

- (1) 他 1.1.1 地域における臨床工学の学術振興
- ・ 講師派遣等を行った。
- (2) 他 1.1.2 学術研究・論文の助成の検討
- ・ 投稿論文を受付け、査読を経て、当会の会誌に掲載を行った。
 - ・ Blood Purification 誌、Journal of Clinical Medicine 誌への投稿論文を受付けた。

2) 他 1.2 専門・認定臨床工学技士の認定における事業

- (1) 他 1.2.1 専門臨床工学技士の認定
- ・ 別紙 3 のとおり。
 - ・ 認定領域：専門呼吸治療臨床工学技士
専門血液浄化臨床工学技士
専門手術臨床工学技士
専門不整脈治療臨床工学技士
専門心・血管カテーテル臨床工学技士
専門高気圧酸素治療臨床工学技士
専門内視鏡臨床工学技士
- (2) 他 1.2.2 認定臨床工学技士の認定
- ・ 別紙 3 のとおり。
 - ・ 認定領域：認定血液浄化臨床工学技士
認定集中治療臨床工学技士
認定医療機器管理臨床工学技士
- (3) 他 1.2.3 専門・認定臨床工学技士制度の充実に向けた検討
- ・ 指定講習の内容充実を検定試験の質向上を図っているところ。
 - ・ 併せて、委員、講師および作問者等の負担軽減について検討しているところ。

他 2 相互福祉に関する事業

1) 他 2.1 賠償責任保険に関する事業

- ・ 加入者数：21,589 名 / 加入率：84.9% (2025 年 4 月 4 日時点)

⁶ IFMBE : International Federation for Medical and Biological Engineering

⁷ GCEA : Global Clinical Engineering Alliance

⁸ AAMI : 米国医療機器振興協会 Association for the Advancement of Medical Instrumentation

2) 他 2.2 団体総合保険に関する事業 (あんしんくん)

- ・ 加入者数 : 257 名 / 加入率 : 1.1% (2025 年 4 月 4 日時点)

他 3 図書、印刷物の刊行に関する事業

1) 他 3.1 機関新聞「たより」の定期発行业

(1) 他 3.1.1 たより 185～190 号の刊行

185 号 2024 年 5 月 1 日
186 号 2024 年 7 月 1 日
187 号 2024 年 9 月 1 日
188 号 2024 年 11 月 1 日
189 号 2025 年 1 月 1 日
190 号 2025 年 3 月 1 日

(2) 他 3.1.2 たよりのさらなる充実に向けた検討

- ・ コンテンツの充実について、検討した。

2) 他 3.2 会誌の定期発行业

(1) 他 3.2.1 会誌 82～85 号の刊行

No.82 2024 年 4 月
No.83 2024 年 9 月
No.84 2024 年 12 月
No.85 2025 年 3 月

(2) 他 3.2.2 会誌のさらなる充実に向けた検討

- ・ 2025 年度より会誌を電子書籍にて発行することとして、準備を完了した。
- ・ 過去の会誌についても、順次、電子書籍とすることを検討している。

以上

別紙1.2_2024FY研修会

2025年3月31日時点

事業	研修	開催日程				申込者 (人)	修了者 (人)	修了率	本年度 総申込者	2023年度 総申込者	総申込者 前年度比
		名称	開催月	開始	終了						
公1.5.1	入会オリエンテーション	通年			1,481	987	66.6%	1,481	2,196	0.67	
	臨床工学士基礎研修	通年			1,570	679	43.2%	1,570	2,479	0.63	
	キャリアアップ研修・中級	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	25	24	96.0%	25	66	0.38	
	学術研究の進め方に関する研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	16	12	75.0%	16	59	0.27	
公1.5.3	災害対策研修	1月							19		
公1.6.3	日本臨床工学士教育研究会	12月	12/1/2024	*オンライン	81	81	100.0%	81	111	0.73	
公2.1.2	透析液安全管理基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	83	78	94.0%	83	168	0.49	
	バスキュラーアセス管理研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	48	44	91.7%	48	115	0.42	
	医療機器安全管理責任者研修	9月	9/1/2024	*対面	20	19	95.0%	72	70	1.03	
	医療機器安全管理責任者研修	10月	10/26/2024	*対面	52	50	96.2%				
	医療機器安全管理研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	39	36	92.3%	39	104	0.38	
	腹膜透析業務基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	37	60	162.2%	37	60	0.62	
	集中治療業務基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	19	18	94.7%	19	52	0.37	
	新生児集中治療業務基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	9	8	88.9%	9	31	0.29	
公2.1.2	心・血管力テール業務基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	26	23	88.5%	26	102	0.25	
	高気圧酸素治療業務基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	9	7	77.8%	9	21	0.43	
	内視鏡業務基礎研修	8-10月	8/1/2024	～ 10/31/2024	29	25	86.2%	29	78	0.37	
	○研修全体				3,544	2,151	60.7%	3,544	5,731	0.62	

別紙2_2024FY専門・認定検定試験

事業	名称	試験日程		申込者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率	2023年度 受験者 (人)	受験者 前年度比	2023年度 合格率	2025年3月31日時点	
		開始	終了								合格率	前年度比
公1.3.1	専門呼吸治療臨床工学検定試験	2025/2/14	～ 2025/2/23	146	132	27	20.5%	107	1.36	17.8%	1.15	
	専門血液浄化臨床工学検定試験	2025/2/28	～ 2025/3/9	278	237	43	18.1%	204	1.36	7.4%	2.45	
	専門手術臨床工学検定試験	2025/2/14	～ 2025/2/23	86	73	14	19.2%	81	1.06	14.8%	1.30	
	専門不整脈治療臨床工学検定試験	2025/1/31	～ 2025/2/9	173	154	33	21.4%	122	1.42	18.0%	1.19	
	専門心・血管力テーテル臨床工学検定試験	2025/2/28	～ 2025/3/9	109	91	18	19.8%	87	1.25	9.2%	2.15	
	専門高気圧酸素治療臨床工学検定試験	2025/2/14	～ 2025/2/23	13	11	0	0.0%	13	1.00	7.7%	-	
	専門内視鏡臨床工学検定試験	2025/1/31	～ 2025/2/9	60	53	3	5.7%	41	1.46	12.2%	0.46	
公1.3.2	o専門臨床工学検定試験 全体			865	751	138	14.9%	655	1.32	12.4%	1.20	
	認定血液浄化臨床工学検定試験	2025/2/28	～ 2025/3/9	434	379	252	66.5%	325	1.34	59.1%	1.13	
	認定集中治療臨床工学検定試験	2025/2/14	～ 2025/2/23	258	232	203	87.5%	196	1.32	75.5%	1.16	
	認定医療機器管理臨床工学検定試験	2025/1/31	～ 2025/2/9	125	115	100	87.0%	95	1.32	87.4%	0.99	
	o認定臨床工学検定試験 全体			817	726	555	80.3%	616	1.33	74.0%	1.09	

別紙3_2024FY専門・認定臨床工学技士

2025年3月31日時点							
事業	名称	新 規		更 新			
		認定者 (人)	2023年度 認定者 (人)	初回認定者 前年度比	認定者 (人)	2023年度 認定者 (人)	更新者 前年度比
他.1.2.1	専門呼吸治療臨床工学技士	21	20	1.05	12	26	0.46
	専門血液浄化臨床工学技士	23	26	0.88	30	65	0.46
	専門手術臨床工学技士	12	11	1.09	13	11	1.18
	専門不整脈治療臨床工学技士	30	27	1.11	23	114	0.20
	専門心・血管カテーテル臨床工学技士	22	19	1.16	12	12	1.00
	専門高気圧酸素治療臨床工学技士	2	0	-	3	5	0.60
	専門内視鏡臨床工学技士	7	7	1.00	8	6	1.33
	○専門臨床工学技士 全体	117	110	1.06	101	239	0.42
	認定血液浄化臨床工学技士	170	248	0.69	212	92	2.30
	認定集中治療臨床工学技士	138	239	0.58	164	0	-
他.1.2.2	認定医療機器管理臨床工学技士	79	94	0.84	66	136	0.49
	○認定臨床工学技士 全体	387	581	0.67	442	228	1.94

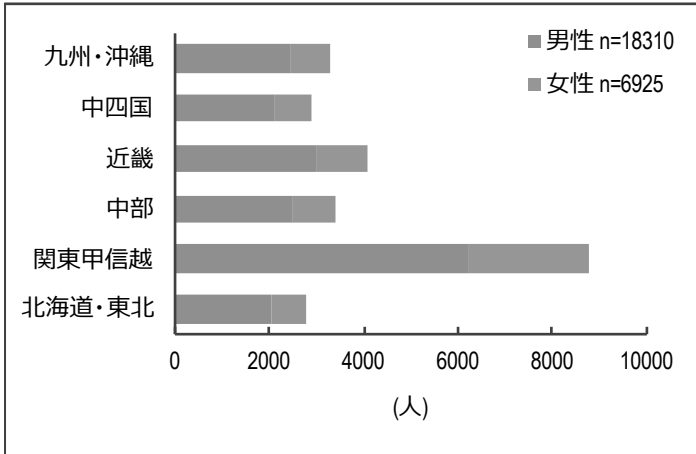
1. 正会員数

25235人

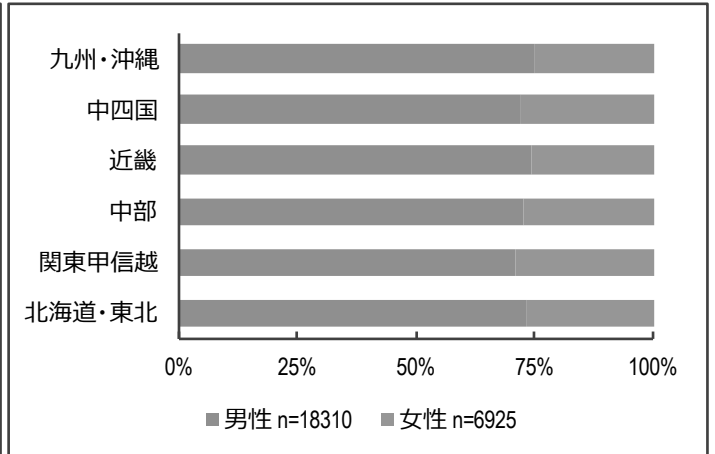
男性： 18310人 72.6%

女性： 6925人 27.4%

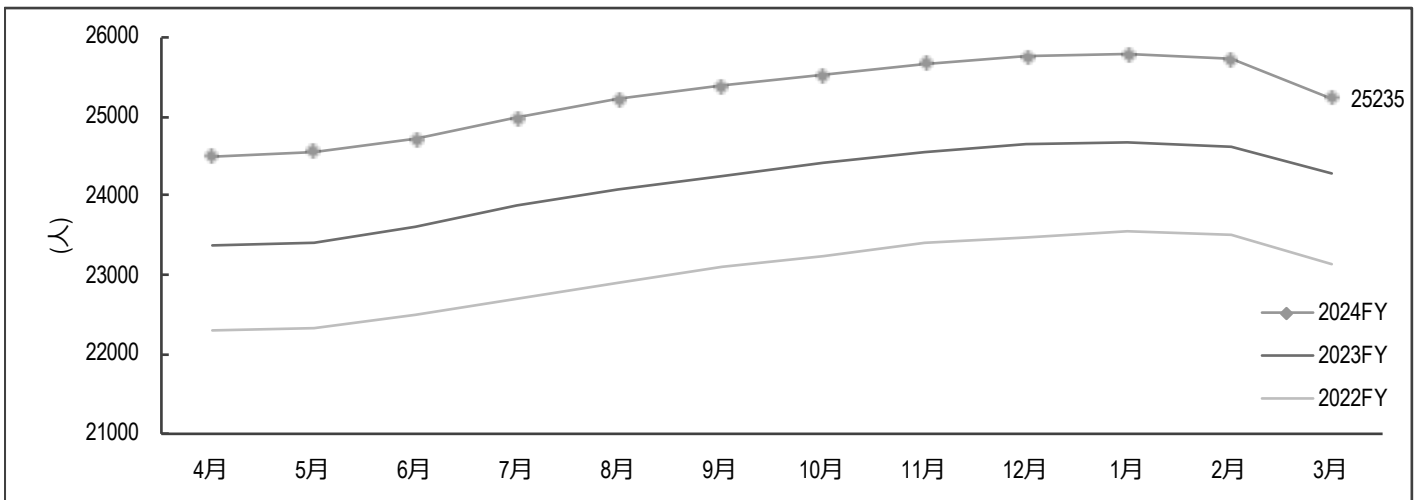
2. 正会員のブロック別・性別による分布



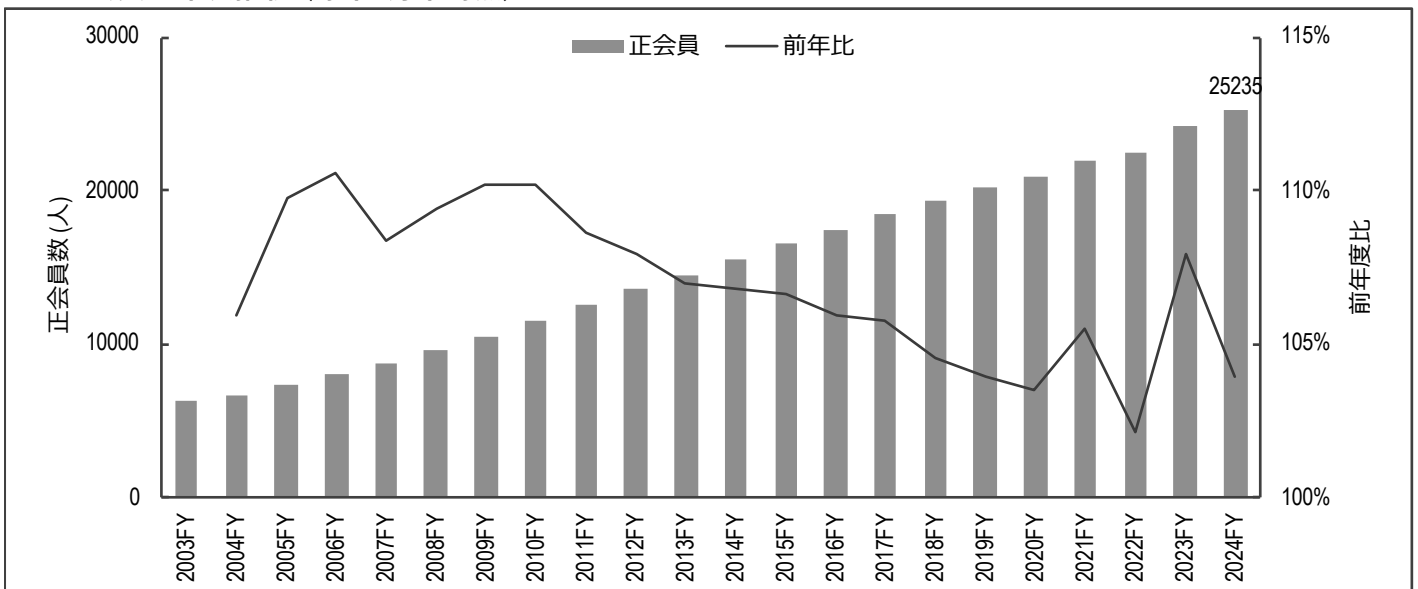
3. 年代別・性別による分布



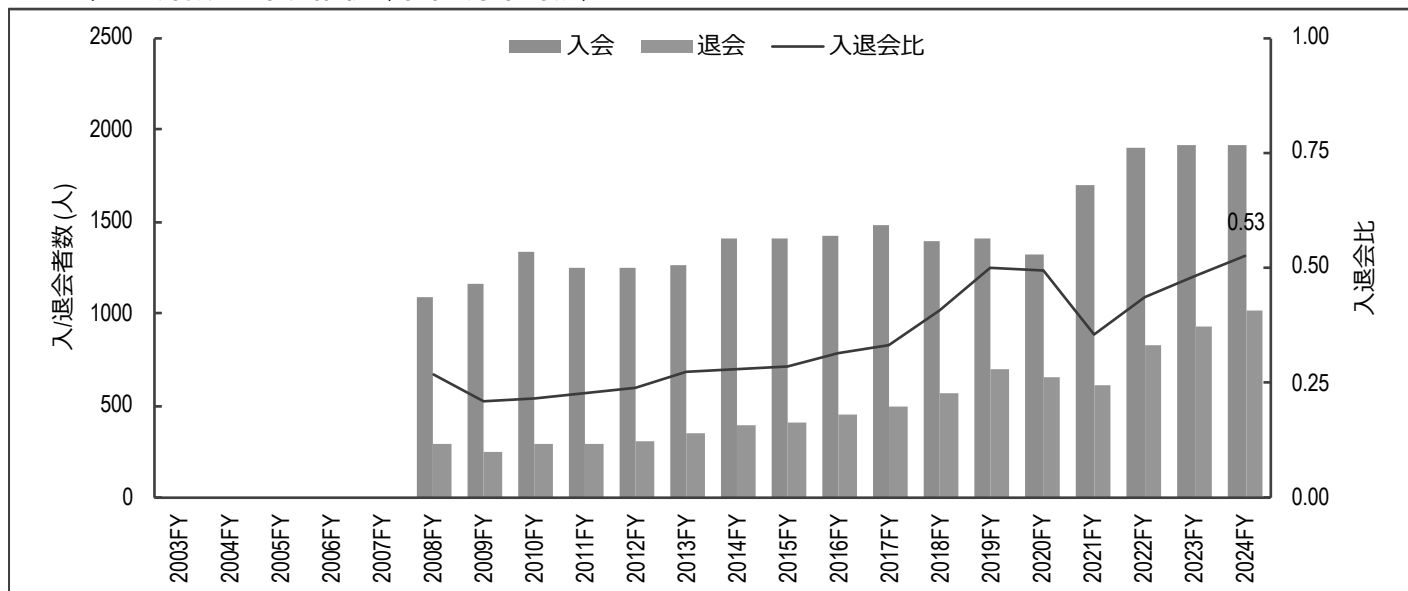
4. 正会員数の月次推移 ※4-2月：初旬、3月：末日



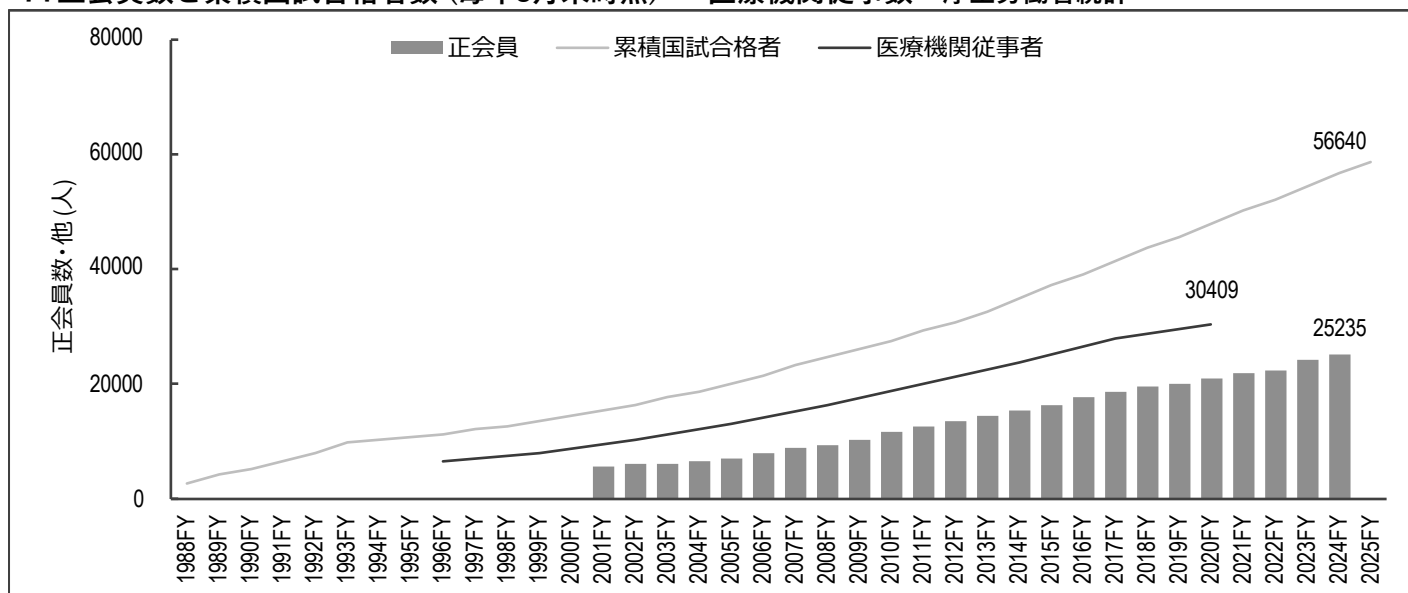
5. 正会員の年次推移 (毎年3月末時点)



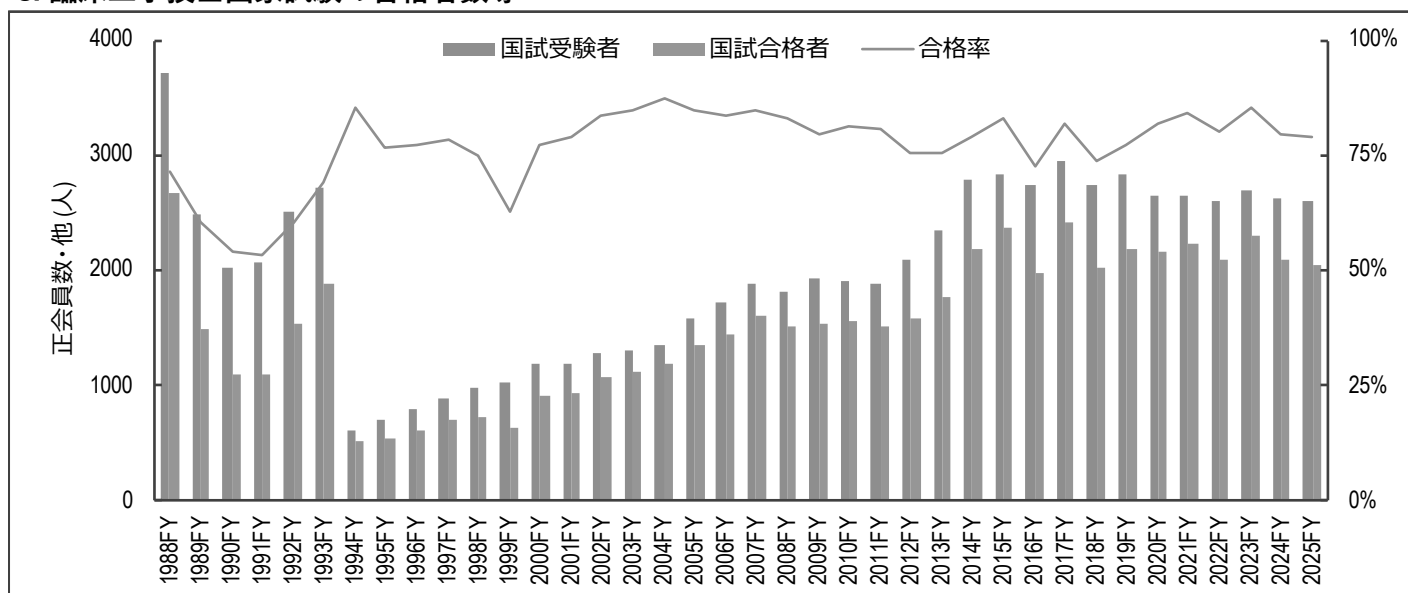
6. 入/退会者数の年次推移 (毎年3月末時点)



7. 正会員数と累積国試合格者数 (毎年3月末時点) *医療機関従事数：厚生労働省統計



8. 臨床工学技士国家試験の合格者数等



9. 日臨工会員の所属都道府県技士会（2025年3月31日時点）

*：令和2年医療施設（静態・動態）調査

ブロック	技士会	男性	女性	総数	男性割合	女性割合	入会 手続き中	総計	医療機関 従事者*
北海道 東北	北海道	728	166	894	81.4%	18.6%	18	912	1811.4
	青森県	125	57	182	68.7%	31.3%	2	184	173.8
	岩手県	162	57	219	74.0%	26.0%	3	222	202.1
	宮城県	373	207	580	64.3%	35.7%	3	583	538.1
	秋田県	154	36	190	81.1%	18.9%	0	190	184.6
	山形県	197	91	288	68.4%	31.6%	0	288	246.3
	福島県	301	130	431	69.8%	30.2%	4	435	495.5
関東 甲信越	茨城県	410	100	510	80.4%	19.6%	4	514	553.3
	栃木県	294	93	387	76.0%	24.0%	8	395	475.3
	群馬県	248	91	339	73.2%	26.8%	9	348	408.3
	埼玉県	912	387	1299	70.2%	29.8%	13	1312	1580.2
	千葉県	863	352	1215	71.0%	29.0%	14	1229	1514.0
	東京都	1594	782	2376	67.1%	32.9%	38	2414	3001.4
	神奈川県	1074	515	1589	67.6%	32.4%	33	1622	1830.0
	山梨県	145	40	185	78.4%	21.6%	2	187	171.6
	長野県	371	105	476	77.9%	22.1%	6	482	515.8
	新潟県	298	106	404	73.8%	26.2%	1	405	418.8
中部	静岡県	558	168	726	76.9%	23.1%	9	735	869.0
	愛知県	1012	427	1439	70.3%	29.7%	22	1461	1624.5
	岐阜県	251	85	336	74.7%	25.3%	1	337	443.9
	三重県	299	76	375	79.7%	20.3%	5	380	383.4
	富山県	120	61	181	66.3%	33.7%	1	182	173.4
	石川県	145	77	222	65.3%	34.7%	1	223	209.0
	福井県	99	35	134	73.9%	26.1%	1	135	144.9
近畿	滋賀県	227	75	302	75.2%	24.8%	6	308	289.8
	京都府	417	141	558	74.7%	25.3%	2	560	849.4
	大阪府	1298	458	1756	73.9%	26.1%	29	1785	2249.4
	兵庫県	734	277	1011	72.6%	27.4%	19	1030	1302.8
	奈良県	219	53	272	80.5%	19.5%	4	276	360.3
	和歌山県	128	29	157	81.5%	18.5%	1	158	161.0
中四国	鳥取県	110	34	144	76.4%	23.6%	0	144	136.0
	島根県	123	44	167	73.7%	26.3%	0	167	149.6
	岡山県	423	189	612	69.1%	30.9%	12	624	634.9
	広島県	487	212	699	69.7%	30.3%	9	708	816.5
	山口県	181	56	237	76.4%	23.6%	3	240	292.8
	徳島県	148	41	189	78.3%	21.7%	1	190	256.1
	香川県	219	95	314	69.7%	30.3%	2	316	284.4
	高知県	149	55	204	73.0%	27.0%	2	206	345.6
	愛媛県	258	94	352	73.3%	26.7%	5	357	403.7
	福岡県	713	288	1001	71.2%	28.8%	15	1016	1353.7
九州 沖縄	佐賀県	102	28	130	78.5%	21.5%	2	132	170.7
	長崎県	176	47	223	78.9%	21.1%	3	226	258.9
	熊本県	384	169	553	69.4%	30.6%	7	560	657.6
	大分県	292	91	383	76.2%	23.8%	4	387	419.4
	宮崎県	132	39	171	77.2%	22.8%	2	173	177.0
	鹿児島県	339	80	419	80.9%	19.1%	3	422	452.4
	沖縄県	318	86	404	78.7%	21.3%	5	409	418.3

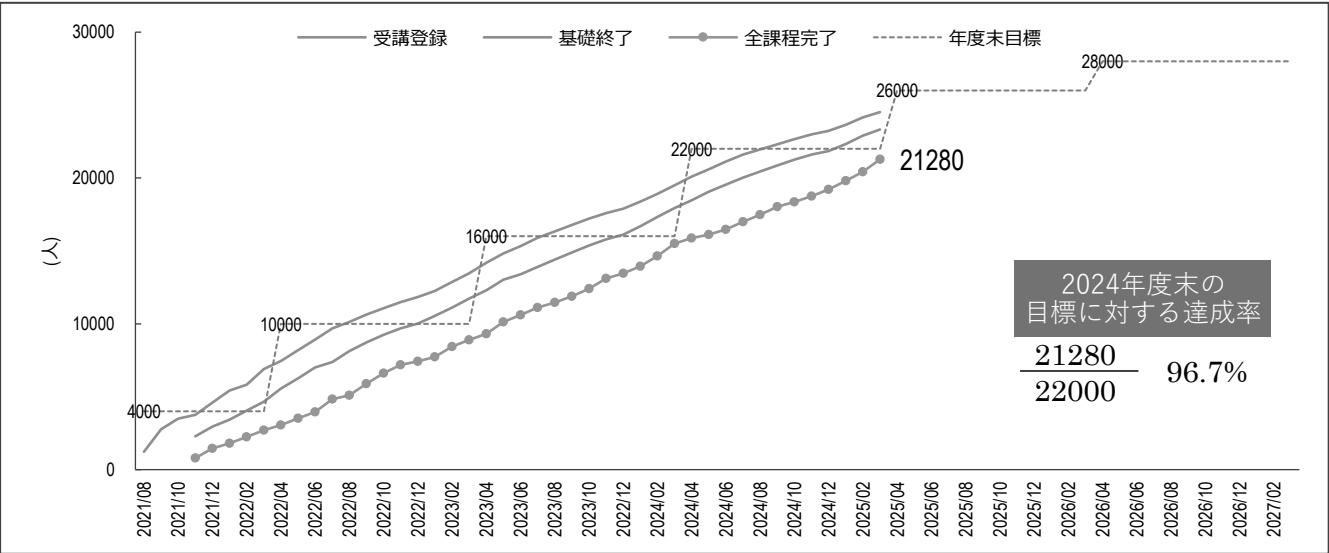
臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修
2025年3月31日時点の受講状況



1. 受講登録の状況

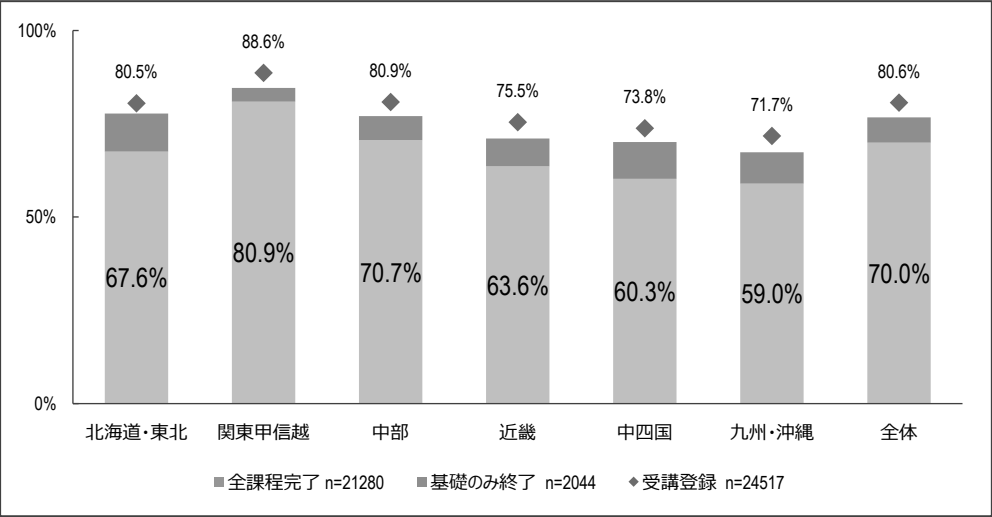
○総数	24517人	〔このうち 全課程を完了した者： 21280人 86.8%〕	
○勤務先の別			
医療機関	24087人	98.2%	
その他	430人	1.8%	
○会員／非会員の別			
日臨工会員	19437人	79.3%	
非会員	5080人	20.7%	
○年代の別			
21-29歳	8083人	33.0%	
30-39歳	8902人	36.3%	
40-49歳	5584人	22.8%	
50-59歳	1710人	7.0%	
60歳-	238人	1.0%	

2. 達成状況の推移



3. ブロック別の医療機関従事者に対する
受講者の割合

- ・都道府県：受講者が修了書送付先として登録された住所による
- ・医療機関従事：「令和2年医療施設（静態・動態）調査」による



医療機関従事（人） 2020年厚生労働省調査より	
北海道・東北：	3651.8
関東甲信越：	10468.7
中部：	3848.1
近畿：	5212.7
中四国：	3319.6
九州・沖縄：	3908.0
全体：	30408.9

4. 都道府県別の医療機関従事者に対する
受講者の割合

・都道府県：受講者が修了書送付先として登録された住所による
・医療機関従事：「令和2年医療施設（静態・動態）調査」による

都道府県	ブロック	受講登録	全課程完了	医療機関従事	都道府県の医療従事者に対する	
		(人)	(人)	(人) ※常勤換算	受講登録	全課程完了
北海道	北海道・東北	1331	1119	1811.4	73.5%	61.8%
青森県		163	154	173.8	93.8%	88.6%
岩手県		193	173	202.1	95.5%	85.6%
宮城県		518	422	538.1	96.3%	78.4%
秋田県		148	124	184.6	80.2%	67.2%
山形県		239	196	246.3	97.0%	79.6%
福島県		349	279	495.5	70.4%	56.3%
茨城県	関東甲信越	437	392	553.3	79.0%	70.8%
栃木県		302	276	475.3	63.5%	58.1%
群馬県		298	268	408.3	73.0%	65.6%
埼玉県		1663	1512	1580.2	105.2%	95.7%
千葉県		1434	1309	1514.0	94.7%	86.5%
東京都		2359	2180	3001.4	78.6%	72.6%
神奈川県		1844	1686	1830.0	100.8%	92.1%
山梨県		168	146	171.6	97.9%	85.1%
長野県		418	377	515.8	81.0%	73.1%
新潟県		356	327	418.8	85.0%	78.1%
静岡県	中部	674	621	869.0	77.6%	71.5%
愛知県		1333	1185	1624.5	82.1%	72.9%
岐阜県		314	261	443.9	70.7%	58.8%
三重県		354	313	383.4	92.3%	81.6%
富山県		143	121	173.4	82.5%	69.8%
石川県		180	122	209.0	86.1%	58.4%
福井県		114	96	144.9	78.7%	66.3%
滋賀県	近畿	294	252	289.8	101.4%	87.0%
京都府		615	490	849.4	72.4%	57.7%
大阪府		1641	1391	2249.4	73.0%	61.8%
兵庫県		956	814	1302.8	73.4%	62.5%
奈良県		296	256	360.3	82.2%	71.1%
和歌山県		132	113	161.0	82.0%	70.2%
鳥取県	中四国	105	85	136.0	77.2%	62.5%
島根県		126	104	149.6	84.2%	69.5%
岡山県		541	445	634.9	85.2%	70.1%
広島県		617	494	816.5	75.6%	60.5%
山口県		215	176	292.8	73.4%	60.1%
徳島県		130	76	256.1	50.8%	29.7%
香川県		233	195	284.4	81.9%	68.6%
高知県		156	134	345.6	45.1%	38.8%
愛媛県		326	292	403.7	80.8%	72.3%
福岡県	九州・沖縄	939	770	1353.7	69.4%	56.9%
佐賀県		98	87	170.7	57.4%	51.0%
長崎県		191	167	258.9	73.8%	64.5%
熊本県		483	343	657.6	73.4%	52.2%
大分県		263	213	419.4	62.7%	50.8%
宮崎県		127	107	177.0	71.8%	60.5%
鹿児島県		358	317	452.4	79.1%	70.1%
沖縄県		343	300	418.3	82.0%	71.7%
合 計		24517	21280	30408.9	80.6%	70.0%

厚生労働省の指針に基づいた臨床実習指導者講習会修了状況

1. 修了者の状況

○総修了者数 1086 名（重複を除くと修了者が配置された施設は約 1000 施設）

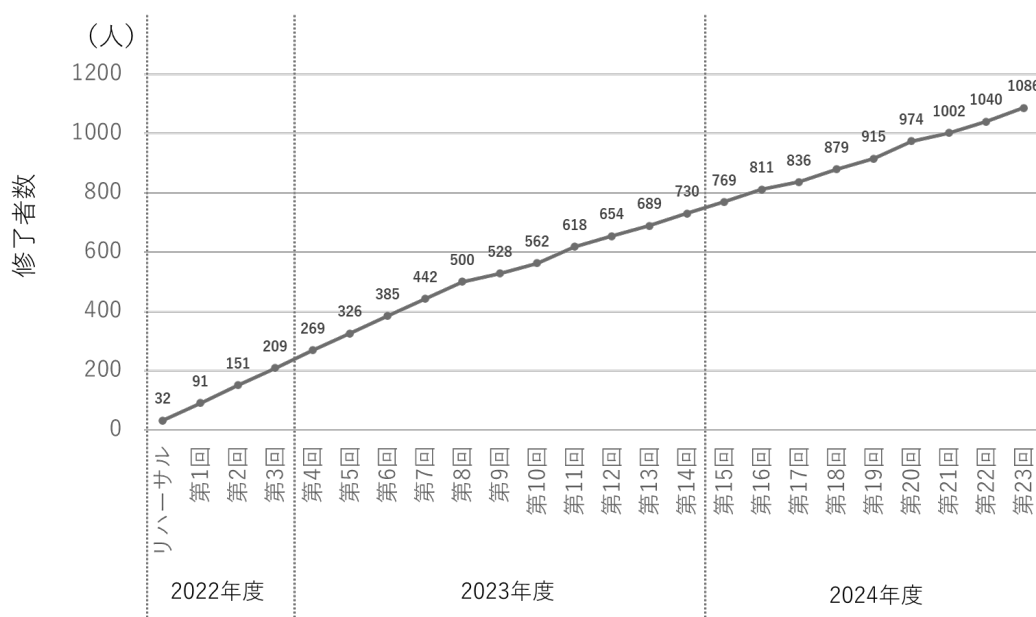
○年度ごとの修了者数

2022 年度：209 名

2023 年度：521 名

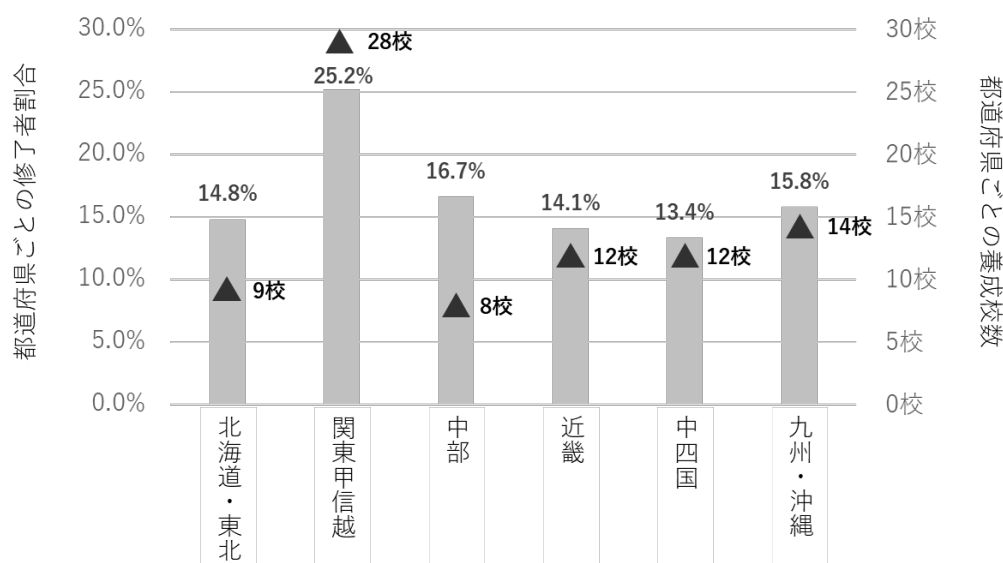
2024 年度：356 名

※全国臨床実習実施施設（1174 施設）のうち、約 85%に修了者を配置



開催回ごとの総修了者数

2. ブロックごとの修了者比率



ブロックごとの修了者の割合と養成校数

都道府県（ブロック）ごとの修了者数と修了者・養成校の割合

都道府県	ブロック	修了者数(人)	都道府県ごとの 修了者割合	ブロックごとの 修了者割合	ブロックごとの 養成校数（校）
北海道	北海道・東北	98	9.0%	14.8%	9
青森県		6	0.6%		
岩手県		3	0.3%		
宮城県		19	1.7%		
秋田県		9	0.8%		
山形県		7	0.6%		
福島県		19	1.7%		
茨城県	関東甲信越	7	0.6%	25.2%	28
栃木県		10	0.9%		
群馬県		26	2.4%		
埼玉県		29	2.7%		
千葉県		30	2.8%		
東京都		53	4.9%		
神奈川県		65	6.0%		
山梨県		1	0.1%		
長野県		19	1.7%		
新潟県		34	3.1%		
静岡県	中部	16	1.5%	16.7%	8
愛知県		87	8.0%		
岐阜県		16	1.5%		
三重県		27	2.5%		
富山県		9	0.8%		
石川県		17	1.6%		
福井県		9	0.8%		
滋賀県	近畿	14	1.3%	14.1%	12
京都府		19	1.7%		
大阪府		59	5.4%		
兵庫県		47	4.3%		
奈良県		8	0.7%		
和歌山県		6	0.6%		
鳥取県	中四国	9	0.8%	13.4%	12
島根県		12	1.1%		
岡山県		23	2.1%		
広島県		22	2.0%		
山口県		7	0.6%		
徳島県		10	0.9%		
香川県		20	1.8%		
高知県		14	1.3%		
愛媛県		28	2.6%		
福岡県	九州・沖縄	49	4.5%	15.8%	14
佐賀県		5	0.5%		
長崎県		13	1.2%		
熊本県		26	2.4%		
大分県		26	2.4%		
宮崎県		7	0.6%		
鹿児島県		32	2.9%		
沖縄県		14	1.3%		
合計		1086			83